



五島地協

第52号
2018年8月21日(火)

〒853-0033 五島市木場町516-7
連合長崎五島地域協議会(五島地協)
発行責任者 高井良 芳行
TEL 0959-72-5749 FAX 0959-72-5749
sptr3t69@key.ocn.ne.jp

～戦争のない平和な21世紀に！～ 「被爆73周年下五島地区平和集会」を開催

8月9日(木)、「被爆73周年下五島地区平和集会」を五島市福江総合福祉保健センターで開催し、150人の組合員が参加した。

集会冒頭、野口副議長は「今年には、被爆・戦後73年を迎え、改めて私たちに、核兵器廃絶や戦後の平和と民主主義の内実が厳しく問われています。被爆者も高齢化し残された時間もなく、「国家補償」や「原爆症認定」、「被爆体験者」、「在外被爆者」、「被爆二世三世」など被爆者の残された課題の解決も急がれます。

昨年7月7日、核兵器の使用や保有、製造、威嚇などを法的に禁止する「核兵器禁止条約」が122の国と地域の賛成で採択されました。被爆者や被爆地が訴えてきた核兵器の非人道性がようやく世界の共通認識となり、核兵器廃絶への大きな一歩が記されたのです。しかし、交渉段階から参加しなかった日本政府は、条約



野口副議長あいさつ

に署名しませんでした。唯一の戦争被爆国でありながら、アメリカをはじめ核保有国に追隨する姿勢に断固として抗議します。

平和と民主主義を守り、核兵器廃絶、被爆者への援護・連帯に向け一人ひとりが平和への意識を高め、二度と過ちを繰り返さないため、さらに運動を強化しましょう。」と訴えた。



来賓として草野久幸市議からご挨拶をいただいた。

今回、「市民運動ネットワーク長崎事務局長」の門 更月さんをお招きし「安倍改憲のめざすもの」と題し講演を頂いた。

門さんは9条・緊急事態条項を中心に分かりやすく話され安倍政権がめざす憲法改正に対抗するため①学習し伝える②被爆地だからこそ戦争は絶対ダメという強い思いを持

つ③外国の人との交流などを行うことを提起した。

2018平和行動in広島に参加して

連合長崎五島地協
事務局長 高井良芳行

8月4日から6日にかけての「2018連合平和行動in広島」に昨年に引き続き参加しました。例年がない暑さの中、原爆で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、平和を祈念できて大変良かったと思います。



広島市平和公園にて

8月5日は午前中、「広島平和記念資料館」の見学であったが原爆の惨状や、落とされるまでの経過が良く理解できるよう展示され、現在の核兵器をめぐる世界の情勢を見て危機感を持ちました。

昼からは、「ピースウォーク」があり、連合広島・青年女性

委員会のメンバーが事前研修を積み重ねて、参加者に説明をしてくれ、とてもわかりやすく、充実したピースウォークでした。

その後17時から、広島県立広島産業会館で開催された「連合2018平和ヒロシマ集会」に参加しました。集会の中でも広島県原爆被害者団体協議会の箕牧 智之副理事長の被爆体験を聞き、原爆被害の悲惨さをあらためて感じました。

8月6日は連合が被爆50周年事業として広島市に寄贈した広島市立大学にある「長崎平和の鐘」の打鐘式に参加しました。広島市の平和記念式典に合わせて8時15分に打たれた平和の鐘の音色は核廃絶と世界の平和を願い、広島島の青い空にいつまでも響いていました。



「平和の鐘」打鐘式